

議題：大田区立道塚小学校 第3回学校運営協議会

日時：2022年9月10日（土）11:00-12:00

場所：道塚小学校 2階 家庭科室

出席：

(委員)

河合会長、横山委員、加藤委員、花島委員、岩井委員、鶴岡委員、野崎委員、多田委員、瀬尾委員、宮城委員、梨本委員、安田委員、須田委員、細川委員（記）

(学校)

大場校長、藤田副校長、中井先生、小針先生、伊藤先生、井上先生、大胡先生、中先生、太田先生

(ゲスト)

蒲田西特別出張所 小林所長
学童 道塚放課後ひろば 長谷川施設長

議事内容：

・大場校長 挨拶

早寝早起き朝ごはんの歌を先生方で作った

→子どもたちに好評、大田区のホームページにも掲載の見込み

・小林所長 挨拶

→今年度、蒲田西地区エリアのコミュニティ・スクールは道塚小のみ

→自治会長の集まりに大場校長先生に来てもらった

→今月スポーツフェスタがある、地域・青少対・小学校とかのつなぎ役になる

・長谷川施設長 挨拶

→道塚放課後ひろばをやって3年目

→川崎市でやっていたが、その前は保育園につとめてみて大変さが分かった

→道塚小の周りにも幼稚園、保育園あるが、取り組んでいる内容は異なる

→それぞれに特徴があり、小学校に集まって個人差が生まれている

→先生方は忙しいし、変苦労していると思い、なんとかしたいと考えている

◆報告事項

(1) 夏期休業中の様子の報告

・道塚放課後ひろば（長谷川施設長）

→①子ども教室、フォトフレーム作り、ミサンガ作り、②水遊び大作戦、④誕生日会などをやった

→工作する環境がありよくやる

→フォトフレームやミサンガ作り、女の子だけでなく男の子も参加する

→子どもたちがラッピングや工夫できることをほめた

→水遊び大作戦には、先生が参加してくれた。学校、学童、家庭での子どもたちの様子は違うので連携できてよかったです

→プラレールなどおもちゃは子どもたちで考えて作る、1年生がつくれないのを2年生がフォローしてくれる

・補習教室（大場校長・河合委員長）

→補習の講師に、地域の高校生がきてくれた

→補習に来た子は「ここで宿題やりきるぞ」ぐらいに夢中でやっていた

・夏のワクワクするスクール（安田委員）

→PTAボランティアが集まり、乗り切ることができた

・ラジオ体操（鶴岡委員）

→道塚自治会は道塚小学校、他7町会で1週間ずつやっていた

→たくさん子どもたちとお母さんがきていた

→多摩川二丁目町会では、6年生が机出し/学年毎の整列などの運営を行っている

→ずっと続いている、5年生は来年自分がやる立場と思いつつ参加している

・民生委員と心配な子たちの情報交換（鶴岡委員）

→コロナの関係でつながりがうすくなっていたが学校と地域の情報交換をした

→先生方が心配してくれるが、夏休みの間先生方が心配するのも無理がある

→夏なので窓を閉め切っている、洗濯物を干していないなど家庭状況はわかりにくく

→何かあった時のために、近くをまわったり、声をかけたりしている

→先生に教えていただいた情報を参考に対応していく

・水泳（大場校長）

→コロナの影響で2年間なかったが、今夏は各学年で10時間超実施

→事故もなくけがもなく終えることができた

・ドッジボール大会（瀬尾委員）

→今、東京都大会はベスト8

→先生5名応援にきててくれた、子どもたちの、向かっていく姿、準備する姿、円陣を組んで子供たちが学んだことなど、先生方と共有できてよかったです

(2) 各学力調査・体力テストの結果について（藤田副校長）

- ・本校の学力状況の報告・改善策について、資料を説明

→全国学力・学習状況調査、国語と算数は全国平均を上回った

→学力向上を図るための調査、繰り返しの練習は、都平均を上回る回答数

→交流して課題を解決する活動は都平均より少ない回答数

→学習効果測定、算数では、目標値を上回った

- ・家庭学習のポイントを保護者会で配った

①家庭学習時間・時刻を決める

②宿題は毎日やる

③自主学習、自主学習ノートを用意している

→自分で考えて、自分で進める、興味ある内容について調べる

→夏休みのテーマになったりしている

- ・体力テストの状況

→この1-2年の体力低下がみられる、低学年が顕著

- ・(野崎委員)

→学校が努力しているのがみられる、平均でなく棒グラフにわかりやすい

→公立学校なので、ふたこぶラクダのようになっていると思われる

→平均下の子を伸ばすにはどうするか

- ・(宮城委員)

→自分の子どものころとは違う取組をいろいろやっている

→子どもたちも向き合ってやっている

- ・(須田委員)

→外より部屋の中で遊ぶのが主流になっている

→体の動かし方がわかっていないのではないかと思う

→体重増えてきて、自分でやらないので、縄跳びとかやらしている

- ・(瀬尾委員)

→日常的に体を動かすことが減っているのが、顕著にあらわれているのでは

→学校だけでは難しい、家庭・地域連携でやっていく必要がある。

- ・(多田委員)

→幼稚園でも外遊びや、筋力をつかう取り組みをやっている

→それでも、すぐに疲れてしまう子が多い

→これから季節もよくなるので、運動会とかに向けて取り組んでいく

（3）2学期の学校行事について

- ・主な行事は以下

→9/24 スポーツフェスタ→270名の応募あり
→10/3 国際交流の会
→10/6 自転車教室
→10/15 道塚まつり→3年生以上がお店屋さん、1,2年がお客様で参加
→10/19 区長授業見学（11/11 全生総研の事前）
→10/31 小池小研究発表会の見学
→11/2 令和5年度就学時健診
→11/9 小中一貫教育の会（道塚小、相生小、御園中）
→11/11 公開授業・全生総研発表授業
→11/後半 個人面談、対象は希望のみ
→12/10 縦割り班活動→1-6年でのグループ活動
→12/17 小学生駅伝大会

（4）コミュニティスクール研修会の報告（河合会長）

- ・コミュニティスクールがどういったものかの理解するための研修とワークショップをやった
→河合会長、加藤委員、細川委員の3名が参加した
→研修では、学校運営協議会委員の1年目は学校を知るところからでよい
→ワークショップでは、どんな子どもに育てたいか、付箋に書きだしてみんなの意見をあつめて、学校に生かす
- ・研修会資料の学校運営協議会の主な役割（大場校長）
 - 1.学校運営の基本方針に承認する
 - 2.学校・教育委員会に意見を述べることができる
→学校だけでなく家庭でもできる体力づくりが必要
→家庭と連携するという意見を教育委員会に述べてもらいたい
 - 3.教職員の任用に意見を述べることができる
→来年C S枠で先生を任用できるので、いい先生があれば情報が欲しい

◆提案事項

(5) 学校運営協議会の視察研修について（藤田副校長）

- ・コミュニティスクール先進校に視察にいく
→横浜市立東山田中学校、11月29日(火)16:30～（当日現地集合・現地解散）
→参加申込は藤田副校長まで

(6) 学校ホームページの改善と支援について（大場校長・細川委員）

- ・9月からホームページの更新を学校運営協議会で支援
 - ①トップページにお知らせや直近のイベントの案内を掲載
 - ②学校・子どもたちの様子を掲載
 - ③必要なものがあれば配布文書に掲載
- 学校・児童の様子は、先生が写真・情報を収集し、GoogleClassルームに登録
- 学校運営協議会で、週一回金曜日、ホームページに掲載・更新する

(7) FLL学校チャレンジ取り組み校の募集について（大場校長）

- ・レゴブロックでプログラミングし、大会出場までを実践
→梅田小が応募、含め4学校の募集がきている
→参加にはサポートが必要
→運営を学校でなく、学校運営協議会にお願いしたいと考えている
→検討をお願いします。

(8) 今後の学校評価に向けた参観等の予定について（大場校長）

- ・学校評価に向けて委員の方は通常参観もだが、以下2つは必ず見に来てほしい
 - ①10/15土 道塚まつり
 - ②11/11火 公開授業・全生総研発表授業
- 全国・都内・区内の先生が参観にくる、代表のクラスの内容は配信する
 - 1年 秋をみつける
 - 2年 わくわくおもちゃランド
 - 3年 カムカム新蒲田
 - 5月にリニューアルオープン
 - 地下1階ホール、450人キャパ、昔より狭くなった
 - 3階中高生広場がある
- 4年 ダンボールラボ
- 5年 ものづくり、下町ボブスレー

→6年 ものづくり、道塚カンパニー

→今日、藍染授業した、これを製品化/宣伝、展覧会で売るまでやる

・カムカム新蒲田

→5月にリニューアルオープン

→地下1階ホール、450人キャパ、昔より狭くなった

→3階中高生広場がある

→ぜひいってみてください。

(9) 展覧会について

・1/27金-28土で展覧会、28土は学校公開を実施します

→地域の方の作品展示、協力をお願いします。

→地域は7自治会あり、1自治会あたり展示版1枚/1机ぐらいしかとれない

→前回（令和2年）の反省として応募数が多くて入らなかつたとある

→事前に自治会に説明にいくつもり

→地域の展示場所は視聴覚室でも道塚ホールどちらでもよい

→場所・スペースをはっきり言ってくれればよい

→視聴覚室にあじさい校区、道塚ホールに自治会とする

→あじさい校区で、相生小・御園中の展示をしていた

→地域の展示を20年やっているのは道塚小ぐらい、自治会でこれまでやってきた

→自治会に担当者がいるので、出すように言ってくれればよい

→自治会との接点を学校運営協議会にお願いしたい

→横山委員、岩井委員が窓口になる

→学校は太田先生

→自治会への説明は、大場校長先生、河合会長がいく

→当日、加藤委員がワークショップを開く

→申込は大変なので、申込なくてもよい形式でやりたい

・展覧会を地域行事にして、学校が行事に参加する形式にできないか

など考えていく必要がある（野崎委員）

→学校運営協議会が活性化した時に考えていく

◆熟議（委員と先生方での熟議）

・いじめを早く発見、いじめなくともすむにはどうすればよいか

（15分議論、5分発表）

・チーム1

→表に出ない見えないところでやっていることがあり、担任団で重点的にやってきた
→楽しい授業、縦割り班活動、役割を与えてほめるなど

→わくわくスクール、5,6年放課後校庭開放など居場所をつくる

・チーム 2

→いじめかどうか判断は難しい、小学校、幼稚園、中学校のいじめの意見を交換した

→今はSNSでのいじめ発見が難しい、学校の教育もあるが、家庭でも必要

・チーム 3

→アピールすることが大事だという意見がでた

→担任だけで対応するのはなく学年・学校、保護者まで

→事例とか、学校はこういう対処しているとかアピールすると保護者も安心できる

→SNSも事例で注意喚起できる

・チーム 4

→家庭とのかかわりを話した、いじめをする子には家庭での愛情不足とか要因がある

→過去、荒れているクラスに保護者がはいったこともあった

→今は支援員もある

・チーム 5

→先生は大変だが、しっかりした対応大事

→がむしゃらかもしれないけど、絶対起こさせないと保護者も安心する

→いじめっ子、いじめられてる子の気持ちだけでなく、傍観していう子の気持ち

→考えたことなかったが、道徳の授業でやっていく

・チーム 6

→いじめは人権の問題、周りの大人が人権意識をもっていればいじめがおきにくく

→5, 6年は、XXXさんが気に入らないと、グループにスマホですぐ流す

→1対1ならいいけど、誰かがどちらかにつきn対1になるといじめになる

→あと半年なのでグループを作らせない、みんなとつきあうようにする

→先生にいいつける（言いつけてほしい）

→「おまえ先生にいっただろ」と言われたら、それを先生にいう

→いやになるやめるまで、先生が怒る

→一方、いじめる側の何か不幸せにも目を向ける必要がある

・大場校長

→アピールすることは重要、学校が方針を明確にする

→親同士だけでは噛み合わないことが多い

→第三者をいれる、学校運営協議会委員にお願いしたい

→支援員をいれてうまくいった試は無い、よけいな話になって長引く

p.s.

※道塚小 学校運営協議会 Line グループを作成したので、よければ登録・活用をお願いします。

以 上